

衝突安全性能試験結果の見方

2016 ~ 2017 年度

衝突安全性能

177.2点 / 208点

▶ 評価結果の見方



車種・ブランド	アセスメント	NASVA
車種区分	乗用車	
評価結果	衝突安全性能	★★★★★ 177.2 / 208点 (2016年)
	予防安全性能	ASV++ 58.4 / 71点 (2016年)



歩行者保護性能評価、乗員保護性能評価、シートベルトの着用警報装置評価の得点をもとに★の数を表示しています。(5段階評価)
★の数が多いほど、乗員や歩行者に対する傷害は軽くなります。

フルラップ前面衝突 (運転席)
レベル 4 / 5

フルラップ前面衝突 (助手席)
レベル 5 / 5

オフセット前面衝突 (運転席)
レベル 5 / 5

オフセット前面衝突 (後席)
レベル 4 / 5

側面衝突 (運転席)
レベル 5 / 5

後面衝突頸部保護 (運転席)
レベル 5 / 5

後面衝突頸部保護 (助手席)
レベル 5 / 5

歩行者保護 (頭部)
レベル 4 / 5

歩行者保護 (脚部)
レベル 5 / 5

シートベルト着用警報
レベル 2 / 5
助手席 [○] 後席 [-]

2017
衝突安全性能評価
ファイブスター賞
JNCAP
(日本自動車連盟)

衝突安全性能評価において最高評価 (★★★★★) を受けた車種を表しています。

側面衝突試験
側面衝突試験において、サイドカーテンエアバッグ(SCA)の評価を行ったことを表しています。

SAFE
感電保護性能評価試験を実施し、評価基準に適合したものを表しています。

試験結果を5段階で表示し、レベルの数値が大きいほど乗員保護性能が高いことを表しています。

試験結果を5段階で表示し、レベルの数値が大きいほど歩行者頭部保護性能が高いことを表しています。

試験結果を5段階で表示し、レベルの数値が大きいほど歩行者脚部保護性能が高いことを表しています。

試験結果を5段階で表示し、レベルの数値が大きいほど非着用時の警報効果が高いことを表しています。
助手席及び後席ごとのシートベルトの着用警報装置の装備の状況を表しています。

衝突安全性能結果PDF